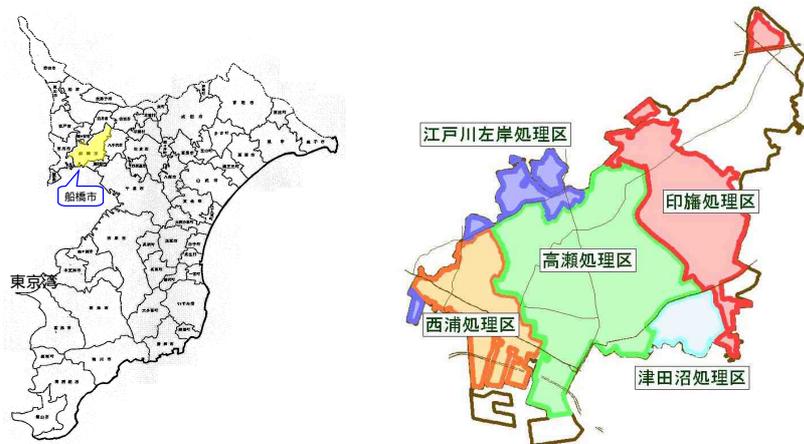


船橋市公共下水道事業 事業再々評価 (江戸川左岸処理区)

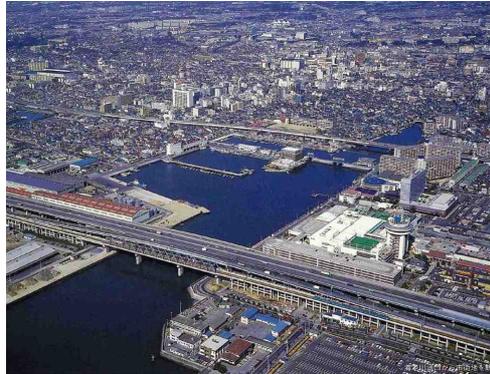
平成20年 11月
千葉県 船橋市

船橋市の概要

船橋市は、東京と千葉の間に位置し、京葉港や豊かな交通網を併せ持つなど、非常に恵まれた立地条件を備えた都市です。

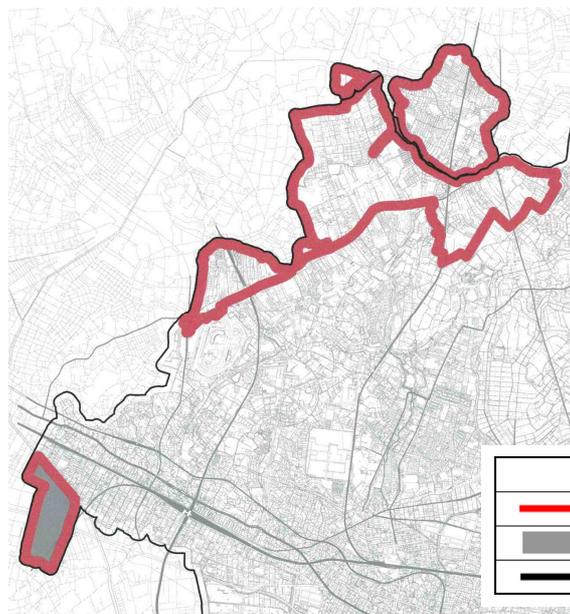


事業の必要性 (江戸川左岸処理区)



生活環境の改善
公共用水域の水質保全効果

下水道事業の概要 (江戸川左岸処理区)



凡 例	
	再評価対象区域
	既整備区域
	幹 線

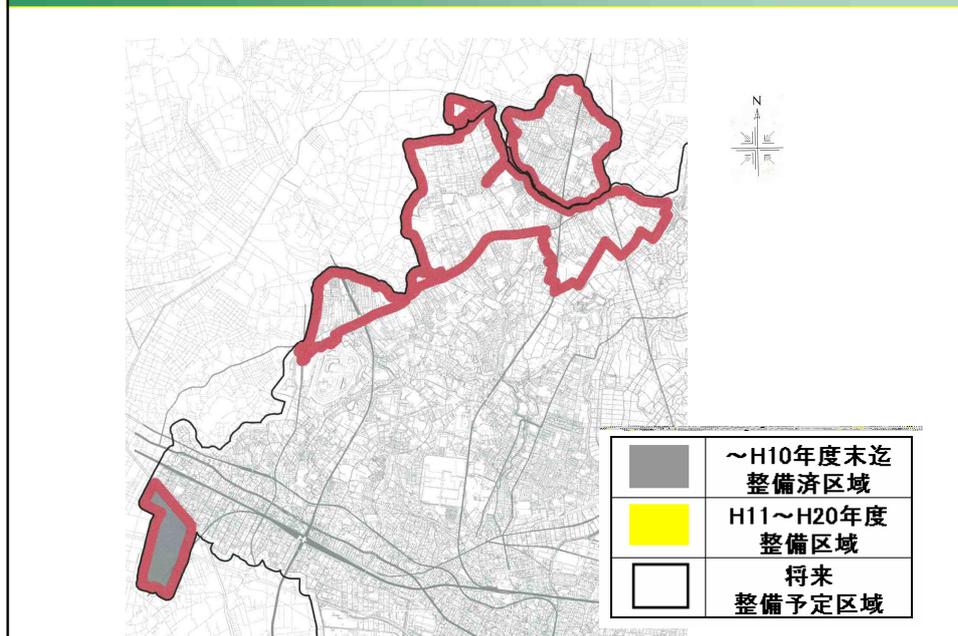
指標1 費用効果分析(江戸川左岸処理区)

	江戸川左岸処理区
総便益 (B)	586 億円
総費用 (C)	338 億円
費用便益比 (B / C)	1.7

指標2 事業の進捗状況(江戸川左岸処理区)

指 標	状 況
事業の進捗状況	平成20年度末時点の整備面積見込みは、事業計画40haに対して40haを整備し、整備率は100%である。
供用開始区域の 接続状況	接続率は100%である。
地元情勢等	市議会の理解及び地元住民の理解・協力は得られている。

指標2 事業の進捗状況(江戸川左岸処理区)



指標3 社会経済情勢等(江戸川左岸処理区)

指標	状況
社会経済情勢	下水道事業に影響のある大きな社会経済情勢の変化は特にはない。
自然環境条件	水質汚濁に係る水質環境基準の新たな設定等、下水道事業に影響のある要因はない。
計画変更の有無及びその程度	全体計画及び事業計画については、必要に応じて適宜、見直しを行っている。

指標4 コスト縮減・代替案(江戸川左岸処理区)

指 標	状 況
コスト縮減	アスファルト合材・路盤碎石等再生資材の利用、最上流マンホールの小型化によりコスト縮減に努めている。
代替案	本市の市街化の状況から、代替としての浄化槽整備よりも、下水道整備が最適。

対応方針(江戸川左岸処理区)案

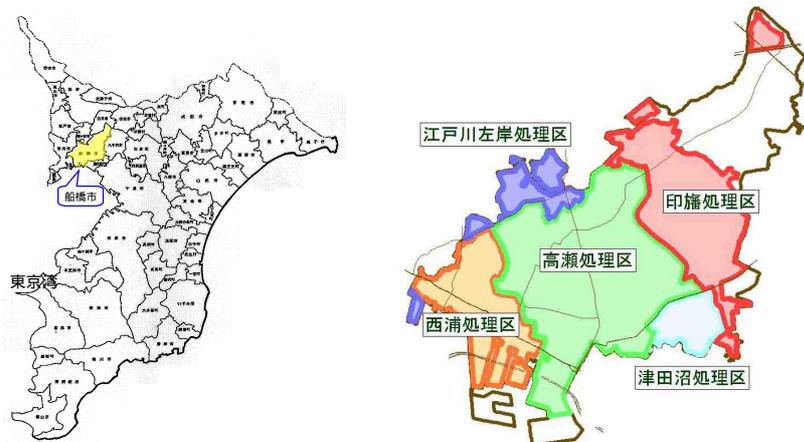
船橋市公共下水道事業は順調に進展しており、今後も順調な進展が見込まれることから、当事業を継続する方針です。

船橋市公共下水道事業 事業再々評価 (印旛処理区)

平成20年 11月
千葉県 船橋市

船橋市の概要

船橋市は、東京と千葉の間に位置し、京葉港や豊かな交通網を併せ持つなど、非常に恵まれた立地条件を備えた都市です。

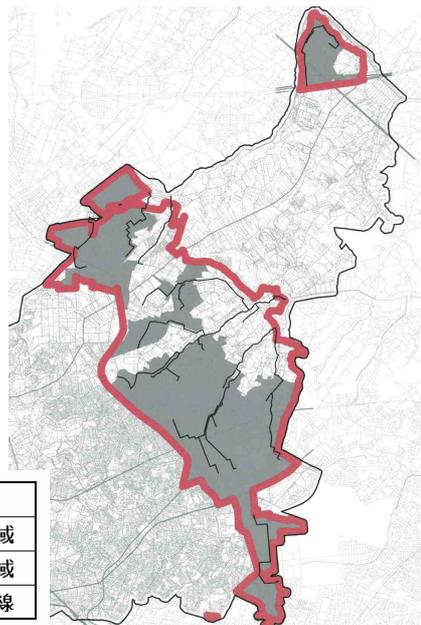


事業の必要性(印旛処理区)



生活環境の改善
公共用水域の水質保全効果

下水道事業の概要(印旛処理区)



凡 例	
	再評価対象区域
	既整備区域
	幹 線

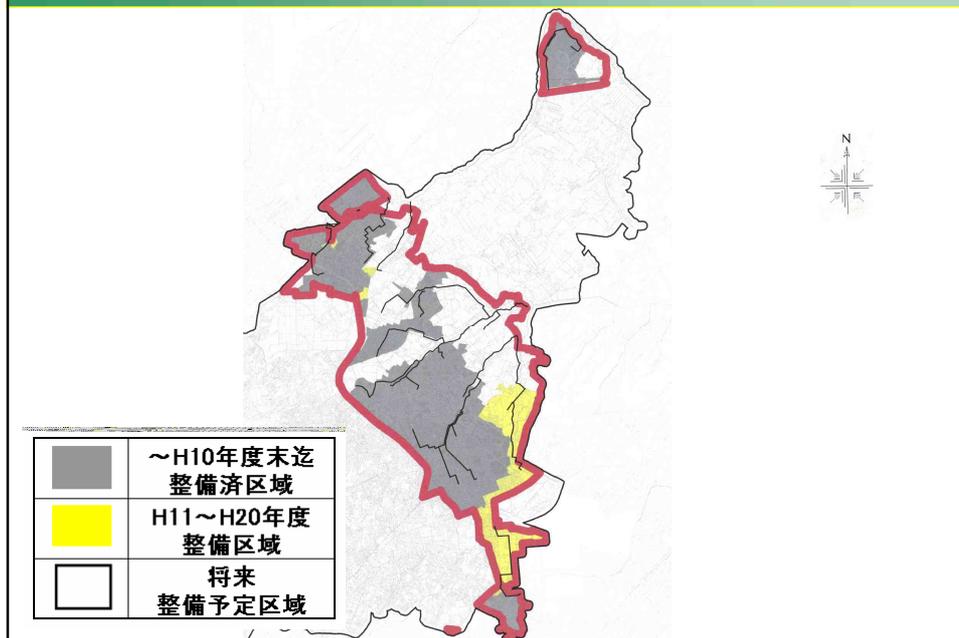
指標1 費用効果分析(印旛処理区)

	印 旛 処 理 区
総便益 (B)	3,535 億円
総費用 (C)	2,074 億円
費用便益比 (B / C)	1.7

指標2 事業の進捗状況(印旛処理区)

指 標	状 況
事業の進捗状況	平成20年度末時点の整備面積見込みは、事業計画1271haに対して1233haを整備し、整備率は97%である。
供用開始区域の接続状況	接続率は95%である。
地元情勢等	市議会の理解及び地元住民の理解・協力は得られている。

指標2 事業の進捗状況(印旛処理区)



指標3 社会経済情勢等(印旛処理区)

指 標	状 況
社会経済情勢	下水道事業に影響のある大きな社会経済情勢の変化は特にはない。
自然環境条件	水質汚濁に係る水質環境基準の新たな設定等、下水道事業に影響のある要因はない。
計画変更の有無及びその程度	全体計画及び事業計画については、必要に応じて適宜、見直しを行っている。

指標4 コスト縮減・代替案(印旛処理区)

指 標	状 況
コスト縮減	アスファルト合材・路盤砕石等再生資材の利用、最上流マンホールの小型化によりコスト縮減に努めている。
代替案	本市の市街化の状況から、代替としての浄化槽整備よりも、下水道整備が最適。

対応方針(印旛処理区)案

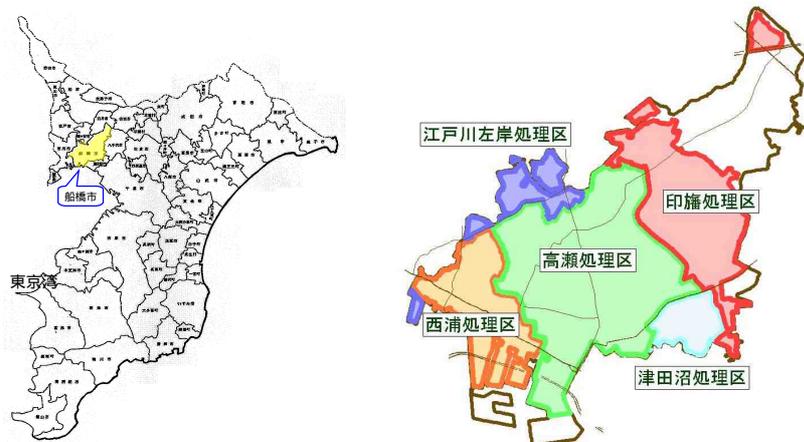
船橋市公共下水道事業は順調に進展しており、今後も順調な進展が見込まれることから、当事業を継続する方針です。

船橋市公共下水道事業 事業再々評価 (西浦処理区)

平成20年 11月
千葉県 船橋市

船橋市の概要

船橋市は、東京と千葉の間に位置し、京葉港や豊かな交通網を併せ持つなど、非常に恵まれた立地条件を備えた都市です。

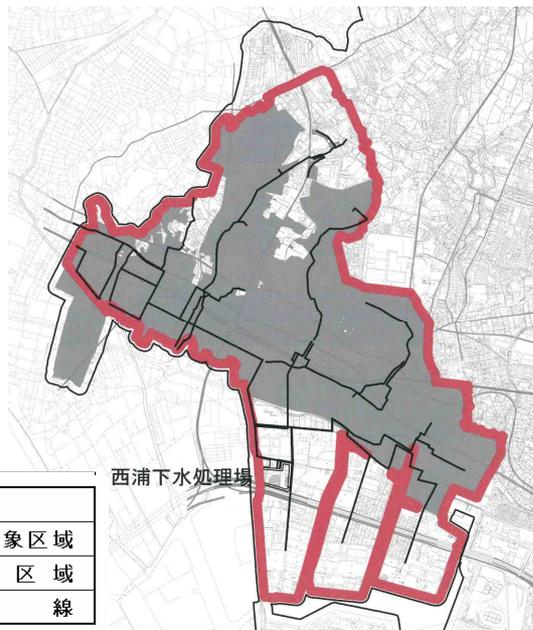


事業の必要性(西浦処理区)



生活環境の改善
公共用水域の水質保全効果
浸水被害から住民を守る

下水道事業の概要(西浦処理区)



凡 例	
	再評価対象区域
	既整備区域
	幹 線

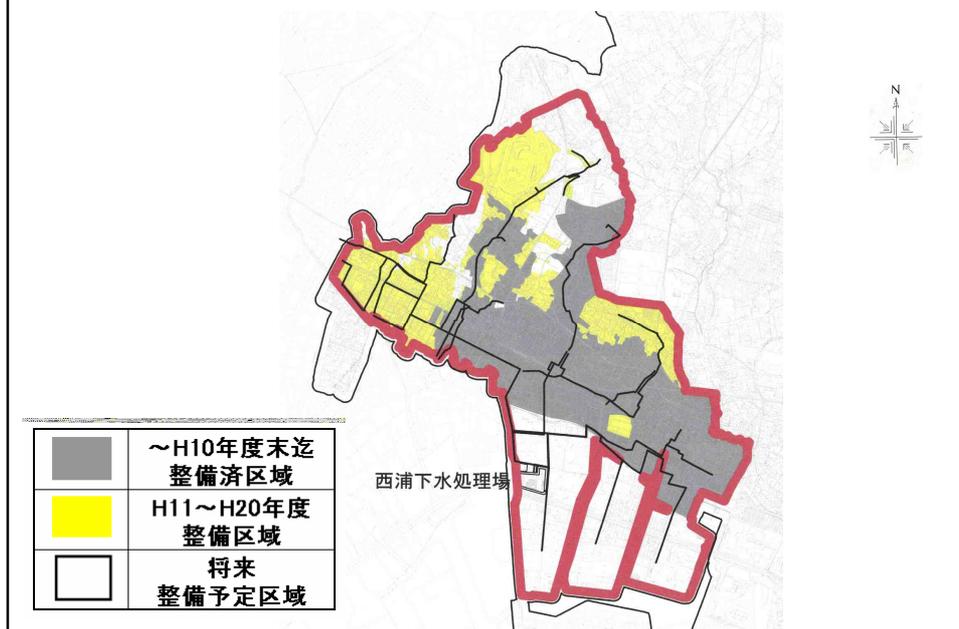
指標1 費用効果分析(西浦処理区)

	西 浦
総便益 (B)	5,648 億円
総費用 (C)	2,247 億円
費用便益比 (B / C)	2.5

指標2 事業の進捗状況(西浦処理区)

処 理 区		西 浦
整備面積	事業計画	859 ha
	整備済	726 ha
	整備率	85%
処理場用地		全用地取得済み
処 理 施 設	事業計画	73,200 m ³ /日
	整備済	64,600 m ³ /日
	整備率	88%
供用開始区域の接続率		98%
市議会の理解及び地元住民の理解・協力		得られている

指標2 事業の進捗状況(西浦処理区)



指標3 社会経済情勢等(西浦処理区)

指 標	状 況
社会経済情勢	下水道事業に影響のある大きな社会経済情勢の変化は特はない
自然環境条件	水質汚濁に係る環境基準の新たな設定等、事業に影響のある要因はない。
計画変更の有無	必要に応じて適宜、見直しを行っている。

指標4 コスト縮減・代替案(西浦処理区)

指 標	状 況
コスト縮減	アスファルトや砕石等の再生資材の利用、掘削土の再利用及び最上流マンホールの小型化によりコスト縮減に努めている。
代替案	本市の市街化の状況から、浄化槽整備よりも、下水道整備が最適。

対応方針(西浦処理区)案

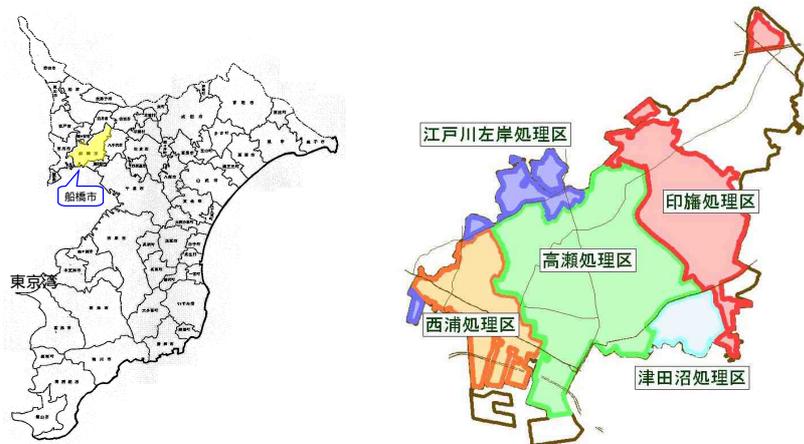
船橋市公共下水道事業は順調に進展しており、今後も順調な進展が見込まれることから、当事業を継続する方針です。

船橋市公共下水道事業 事業再々評価 (雨水)

平成20年 11月
千葉県 船橋市

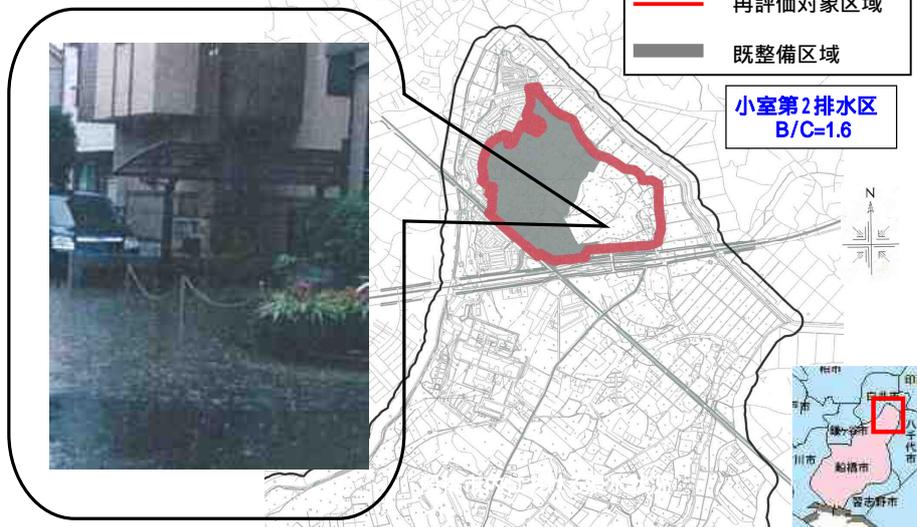
船橋市の概要

船橋市は、東京と千葉の間に位置し、京葉港や豊かな交通網を併せ持つなど、非常に恵まれた立地条件を備えた都市です。



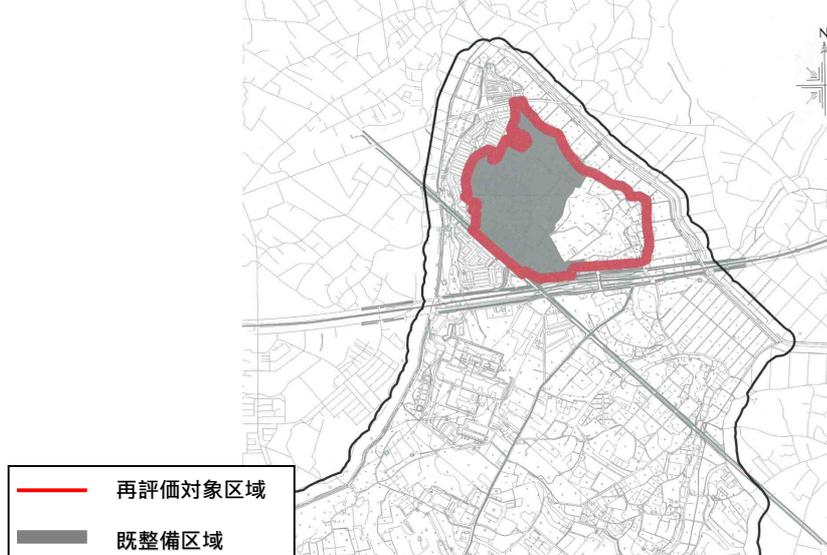
事業の必要性(雨水)

浸水による被害から住民の安全と財産を守り
良好な生活環境を創生する



下水道事業の概要(雨水)

小室第2排水区



指標1 費用効果分析(雨水)

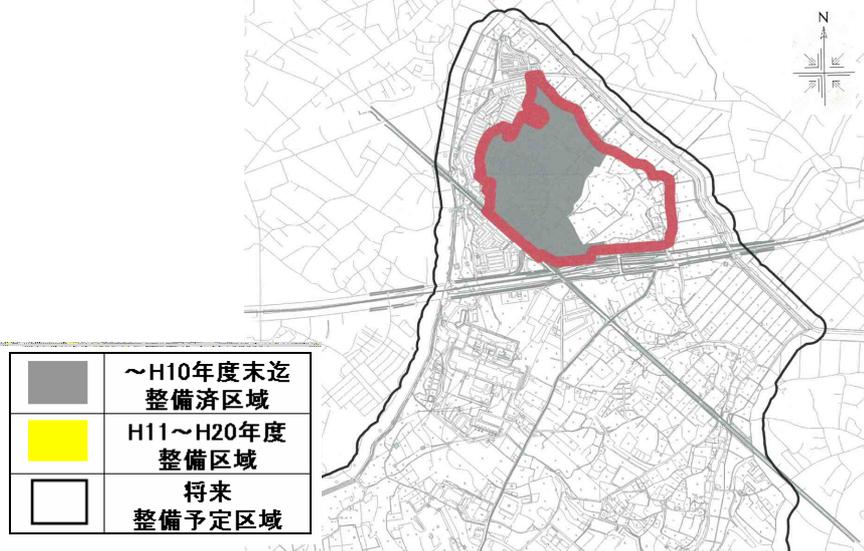
総便益 (B)	50億円
総費用 (C)	32億円
費用便益比 (B / C)	1.6

指標2 事業の進捗状況(雨水)

指 標	状 況
事業の進捗状況	平成20年度末時点の整備面積見込みは、事業計画45haに対して45haを整備し、整備率は100%である。
地元情勢等	市議会の理解及び地元住民の理解・協力は得られている。

指標2 事業の進捗状況(雨水)

小室第2排水区



指標3 社会経済情勢等(雨水)

指 標	状 況
社会経済情勢	下水道事業に影響のある大きな社会経済情勢の変化は特にはない。
計画変更の有無及びその程度	全体計画及び事業計画については、必要に応じて適宜、見直しを行っている。

指標4 コスト縮減・代替案(雨水)

指 標	状 況
コスト縮減	アスファルト合材・路盤砕石等再生資材の利用、最上流マンホールの小型化によりコスト縮減に努めている。

対応方針(雨水) 案

船橋市公共下水道事業は、今後も整備が必要とされることから、当事業を継続していく方針です。